

科目名	管楽合奏 I～VIII B	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	橋本 眞介・瀧 彬友・山本 直人	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業科目の目標＝

フルート・クラリネット・オーボエとファゴット・サクソフォン等、同種楽器のオーケストラやアンサンブルを経験する。同種器の高音楽器から低音楽器までを同時に経験する。
例えば E♭クラリネットやアルト、バス、コントラアルト、コントラバスクラリネットを使用してアンサンブルする事によって同種で得られる独特の世界を体験できる。

＝履修の条件と学習の方法＝

公開演奏会に向け曲目を決める。
各曲の作曲家研究・作品の由来研究・作品の分析研究・演習と進めます。研究については予習をして下さい。演習についてはスコアを読んで自分の役割を確認して参加して下さい。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 公開演奏会の曲目決定
- 3回 〔例〕 P. I. チャイコフスキーの生涯研究
- 4回 バレエ「くるみ割り人形」の分析と編曲者について
- 5回 実習Ⅰ 大まかな通し練習
- 6回 実習Ⅱ ユニゾンやハーモニー作りセクション練習
- 7回 実習Ⅲ 主旋律と伴奏のバランス等とまとめ
- 8回 G. ホルストの生涯研究
- 9回 組曲「惑星」より「木星」の分析と編曲者について
- 10回 実習Ⅰ 大まかな通し練習
- 11回 実習Ⅱ ユニゾン・ハーモニー作り セクション練習
- 12回 実習Ⅲ 主旋律と伴奏のバランス等とまとめ
- 13回 演奏曲についての編集の可能性研究 実習
- 14回 両曲の演奏会に向けての最終チェック 実習
- 15回 公開演奏会本番

＝成績評価の方法と評価の基準＝

研究についての予習、実習についてスコアの解説と予練習を授業の中で、もう一つ公開演奏会での質を総合して評価する。

＝テキスト（必携）＝

特になし